

同和問題啓発強調月間とシトラスリボンプロジェクト

福岡県では、同和問題の真の解決をめざして県民一人ひとりの理解と協力を得るために、毎年7月を『同和問題啓発強調月間』としています。7月になった理由は1969(S44)年7月に、『同和对策事業特別措置法』が施行されたことに伴い、昭和56年度から毎年7月を「福岡県同和問題啓発強調月間」と決めました。この期間中、県内各地でさまざまな差別をなくす取り組みが実施されています。

糸島市においても県の取り組みにあわせて、『同和問題啓発強調月間』中央講演会や街頭啓発を通して、あらゆる差別をなくすための活動を推進しています。

しかしながら、昨年2019年より新型コロナウイルス感染拡大により、講演会や街頭啓発など、多くの活動が中止や延期となる中、新たな人権課題が浮上してきています。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の蔓延は、この病気が感染症であることから、社会不安を増大させるとともに、不当な差別やいじめなどの人権侵害が増大するという問題を生んでいます。**新型コロナウイルス感染症を理由にした偏見や差別は絶対に許されません。**これまで同和問題(部落差別)で大切にしてきた、意義や理念、人権尊重の精神を大切にし、**差別は憎むけれど、人は憎まない!**

一人ひとりが身近な課題として、正しい理解と認識を深められるよう、日常生活を人権の視点から見つめ直してみましょう。

◆シトラスリボンプロジェクトとは

私たちの日常生活を大きく変えてしまったCOVID19、当たり前暮らしに急ブレーキがかかりました。コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志が作ったプロジェクトです。誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがあるなか、たとえ、ウイルスに感染したとしても、だれもが地域で温かく見守り、笑顔を取り戻せる社会に!

そんな願いから、**シトラスリボンプロジェクト**は生まれました。



◎糸島シトラスリボンプロジェクト

シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、それぞれの場所で「ただいま」「おかえり」の気持ちを笑顔で伝えます。リボンやロゴで表現する3つの輪は、それぞれ「地域」「家庭」「職場(もしくは学校)」を表しています。「ただいま」「おかえり」と言い合える地域社会なら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにもつながります。

また、感染者への差別や偏見が生まれる社会不安の増大を防ぐことにつながり、地域の輪を広めることにもなります。

新型コロナウイルス感染症について正しく理解し、感染拡大を防ぐとともに、コロナの感染の有無にかかわらず地域がお互いを尊重し、暮らしやすい社会になることを目指しています。

7月の福岡県同和問題啓発強調月間にあわせて、差別をなくす強調月間への活動を広めています。

コロナに負けるな!
糸島シトラスリボンプロジェクト

糸島市人権・男女共同参画推進課 申(332)2075

新型コロナウイルスによる不安定な社会情勢で、感染者やその家族、医療従事者や運送業者などが差別や偏見を受けているという現実があります。

そのような中、感染者が社会復帰をする時に偏見や差別なく迎え入れられるようにという思いを込めて始まったシトラスリボンプロジェクト。糸島市にも活動を広げ、「安心して暮らせるまちでありますように」という思いを、市全体で共有する運動を行います。

コロナ禍でも差別に負けない人に優しい地域を目指して、糸島シトラスリボンプロジェクトを推進していきますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

愛媛生まれのシトラスリボン
Citrus Ribbon

コロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした愛媛の有志が作ったプロジェクト。リボンやロゴが3つの輪は、地域と家庭と職場(もしくは学校)を表現しています。特産品の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。